

番号	受付年月日	受付方法	性別	年齢	市町村	提案内容	担当部局	取組状況等
1	平成30年4月4日	電子メール	不明	40代	青森市	火力発電や原子力発電といった燃料を使った発電から、燃料を使わない再生可能エネルギーをもっと広めていけばいいと思う。 下北半島縦断道路を全線開通をしてもっとアクセスしやすくすればどうでしょうか。東京ミッドタウン日比谷みたいいこレストランや映画館、ショッピングセンターや駅がある大型複合施設をつくって青森のビジネスと発展に生かせばいいと思う。大間まで、下北半島縦断道路の延長として、風間浦や大間に観光客を増やせばいいです。	エネルギー総合対策局	実施中 青森県では、これまで、エネルギーの安定供給と地球温暖化対策事業に貢献するため、再生可能エネルギー、原子力、火力それぞれのメリットを最大限活かしたベストミックスを目指して、各種施策を展開してきました。 再生可能エネルギーについては、青森県は、平成29年9月現在、稼働済の風力発電設備は9年連続で全国1位、太陽光発電(メガソーラー)は全国10位となっているなど、導入が進んでおり、引き続き、地域の特性を踏まえた再生可能エネルギーの活用や産業振興に取り組んでいきます。
						高速道路や自動車専用道路に速度違反や違反自動車を分かりやすくするためにLEDのライトがその速度規定と同じ速さに車と同じ方向に光るライトを設置すればいい。 産業会館で体験型のイベントやハッピードラッグショーみたいに商品を紹介して、無料でサンプル品がもらえるイベントを増やして、青森の活気を活気を増やせばいいです。	県土整備部	実施中 下北半島縦貫道路は、全体延長約68kmのうち、これまで25.3kmが供用されており、現在、「むつ南バイパス」を含む3工区26.1kmの整備を進めております。 今後も、下北半島縦貫道路の早期完成に向け、地元市町村等と一体となって事業を推進して参ります。 なお、大間町までの延伸については、今後の道路整備に対する貴重なご意見として参考とさせていただきます。
							警察本部	今後検討 高速道路・自動車専用道路でのLEDペースメーカーライトの設置については、主に渋滞緩和を目的として、東京湾アクアライン等で導入事例がありますが、本県については高速道路・自動車専用道路の交通量が少なく、渋滞混雑が少ないこと、高速道路等での事故発生件数が過去3年間減少していることから、現在のところ整備予定はありません。 整備にあたっては、今後の交通量や渋滞、事故等の状況に鑑み、検討してまいります。
							農林水産部	実施中 商品紹介については、青森県産品に対する理解促進と地産地消の一層の定着を図るため、県内量販店やスーパー等と連携して県産品フェアを開催しているほか、毎年、JAグループなどの団体が連携して、青森県産品やご当地の食を紹介・販売する「大農林水産祭」を青森産業会館で開催しています。 今後とも、農林水産関係団体や関連企業等と協力したPR活動を展開し、県産品の利用拡大と地域の賑わいにつなげていきたいと考えています。
2	平成30年4月17日	HP	不明	不明	県外	地方創生というなら、企業の本社を地方に移転させると受けられる優遇処置をアピールすることが必要だと思います。	商工労働部	実施中 青森県では、企業の本社機能の移転や拡充を促進するため、平成27年度に国の制度(地方拠点強化税制)を活用した課税の特例などの支援措置を設け、平成28年度には、本社機能の移転に伴う雇用や転居、設備投資に対する県独自の補助制度を創設しています。 これらの支援措置については、企業訪問や産業展示会などの企業誘致活動において、県内外の企業に積極的にPRしているほか、県の広報をはじめ、市町村や産業支援機関と連携した情報発信に努めており、様々な企業から相談や問い合わせを頂いているところです。 また、国においては、地方拠点強化税制の拡充などを本年度中に行う予定であることから、県としては、今後も様々な機会を捉え、積極的なPRに取り組んでいくこととしています。

番号	受付年月日	受付方法	性別	年齢	市町村	提案内容	担当部局	取組状況等	
3	平成30年4月23日	HP	不明	不明	県外	<p>下記の内容は、以前に国会議員の方々から「性文化やそれに近いものが異常に発達している日本についての意見」という題名で送ったものです。</p> <p>それらを読んで頂いて、多くの地方の首長や地方議員の方々にも、性を商品化するものがあふれている日本について問題意識を持ってもらいたいですし、改善に向けて何ができるか検討して行動に起こしてほしいと思っています。</p> <p>地方で先行事例として条例制定に動いてほしいという思いで、この意見と要望をお送りしました。</p> <p>(中略)</p> <p>日本では、アダルト作品の存在自体とその内容によって、少なくとも6つの問題ないし悪影響が存在しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、アダルト作品出演強制問題のような制作者と出演者の間で引き起こされる問題 2、女性差別的で暴力的なアダルト作品にみられるような異常な内容が人々や社会に与えている悪影響 3、女子高校生や未成年のアイドルグループなどを連想させるようなアダルト作品、つまり子供がその対象にされたかのようなアダルト作品の存在が許されていて、それらが人々や社会に与える悪影響 4、子供がアダルト作品やそれに近いものを見ることがあまりに容易になり、完全に見ることを防ぐことができないという問題 5、アダルト業界とは全く関係のない、一般の女性に悪影響が出ているということ(男性も含まれるのかもしれませんが) 6、日本自体に悪影響がでているということ <p>(そのほかにも、コンビニに置いてある成人誌、アニメやゲーム、テレビ、インターネット、女性差別的な性文化、ハロウィンなどの路上イベント、性風俗店等、社会に悪影響を及ぼしているものを規制すべき。)</p>	環境生活部	実施済み	<p>青森県では、青森県青少年健全育成条例(以下「条例」という。)を制定し、青少年を取り巻く社会環境の浄化に努めるとともに、青少年の健全な育成を阻害する行為の規制等を行っています。</p> <p>条例では、例えば、県が青少年の健全な育成を阻害するおそれのあるものとして指定した図書類等を、青少年に販売し、貸し付け、見せ、読ませ、聞かせ、又は交換によって入手させることを禁止しています。</p> <p>また、青少年のインターネット利用についても、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境整備に努めているところです。</p> <p>県としては、今後とも、条例の適切な運用により青少年を取り巻く社会環境の浄化に努めて参ります。</p>
4	平成30年5月9日	HP	男性	40代	八戸市	<p>将棋の名人戦で現名人の佐藤天彦名人が、毎回お昼休みにりんごジュースを注文されて、ネット放送で見る将(※見るだけの将棋ファン)にも話題になっております。</p> <p>名人戦に青森県産のりんごジュースを提供することで、将棋ファンに青森のりんごジュースを広くPRできると思います。</p> <p>将来的には青森での名人戦、佐藤天彦名人の青森りんごジュースのCMなどしていただきたいと思っております。</p> <p>提供の際には、将棋の強豪であります三村知事と佐藤天彦名人の対局も期待しております。</p>	農林水産部	今後検討する	<p>藤井聡太七段や羽生善治竜王等の活躍により将棋が注目を集めている今、機をとらえた御提案であり、心から感謝いたします。</p> <p>県では、県産りんごやその加工品のPRに著名人を起用することは効果が高いと考えており、県産りんごのPRを行っている一般社団法人青森県りんご対策協議会では、近年、吉本興業と提携し、女性タレントをメインに、CM出演や各種キャンペーンを展開しているほか、SNSを通じて情報発信しています。</p> <p>御提案いただいた佐藤天彦名人を通じた青森県産りんごジュースのPRにつきましては、同協議会をはじめとする関係団体とともに検討していきたいと思っております。</p>

番号	受付年月日	受付方法	性別	年齢	市町村	提案内容	担当部局	取組状況等
5	平成30年5月22日	HP	男性	30代	青森市	<p>自治体病院の県立病院としての運営の提案。例のひとつとして 岩手県があります。</p> <p>岩手県のように県医療局として病院及び職員を管理することで、病院間の職員の質差を縮め全体的な質の向上も望めるとおもいます。</p> <p>具体的には県立病院職員として多くの病院で働くことにより、様々な手法で働き学ぶことが出来るという点があります。</p> <p>また職員を採用する際県として一括採用することにより、なかなか人員確保しにくい病院の職員も確保できるというメリットもあると思います。</p> <p>なかなか短い文の中では伝えられない事が多いのですが、わたしは数年ですが岩手県医療局職員として働いておりましたので、青森県も面積は広く多くの病院が点在するという点で岩手県立病院が出来た経緯とさほど状況は変わらないのではないかと思います、病院で働く一職員として青森県の医療の改善と質の向上を願い提案させて頂きました。</p> <p>下手な文章で長文失礼いたしました。もちろんすぐというのは当然無理かと思いますが、ご検討をお願い致します。</p>	健康福祉部	<p>実施困難</p> <p>自治体病院の成り立ちは各県それぞれです。</p> <p>岩手県、青森県においては、戦前までに農業協同組合系の病院が複数設立されましたが、岩手県では戦後それらを県が引き継ぎ、現在の県立病院群体制として県内の医療を担っております。</p> <p>青森県では、その多くを市町村が引き継ぎ、長い歴史を経て2ヶ所の県立病院と市町村立病院が、高度専門医療から日常必要とされる医療まで、それぞれ求められる役割に応じて機能分担し、地域の方々が必要とする医療を支える仕組みができてきたところです。</p> <p>現時点で、岩手県のような体制に移行することは現実的に難しいと思いますが、いただいた御意見を参考にしながら、今後の人口減少や高齢化も見据え、各病院の更なる機能分化や再編ネットワーク化等を進め、医療の質や安全性の向上、更には経営の安定化・効率化等を進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、青森県病院局では、今年度から平内中央病院(町立)、公立野辺地病院と共同で看護師採用試験を行う取組を始めることとしております。</p>
6	平成30年7月23日	HP	女性	30代	県外	<p>2020年の東京オリンピックですが、猛暑でマラソンは熱中症の危険が伴います。開始時間を早めただけでは根本的な解決になっていません。</p> <p>そこで、東京より涼しく湿度の低い青森市を、特例としてマラソン競技の開催場所とする事を提案していただけないでしょうか？</p> <p>水も食べ物も美味しく道路も広いので、開催するにはぴったりです。</p> <p>夜は涼しくなるので、選手のコンディションを整えるのにも最適ではないでしょうか。</p> <p>ねぶた前ではありますが、ねぶたも8月頭にあるのでいいアピールにもなると思います。</p>	企画政策部	<p>実施困難</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場につきましては、既に大会組織委員会からIOC理事会に提案・了承されており、全競技会場が決定しているため、現時点からの提案は不可能な状況です。</p> <p>しかしながら、本県は、ご指摘のとおり、選手のコンディションを整える環境に適しており、県では、事前合宿の誘致や事前合宿候補地情報等の国内外への発信を行っています。</p> <p>そのほか、本県の強みである食や技術、文化等の情報発信、外国人観光客の誘致に向けた取組の強化、グローバル人材の育成、聖火リレーに向けた準備など、東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を最大限に獲得できるよう、今後とも市町村と連携しながら取り組んでいく予定です。</p>
7	平成30年7月25日	HP	女性	30代	平内町	<p>私が提案するのは「パーキングパーミット制度」です。</p> <p>私には難病の子どもがいます。子ども用車椅子を使用しているため、出かけた時は障害者用駐車スペースを利用しています。車の前と後ろに車椅子のステッカーを貼っていますが、ブルーナさんが描いた「ろってちゃん」のステッカーなのでわかりづらいのか、よく嫌な目で見られます。同じ嫌な思いををするお母さん方は多いようです。100均やホームセンターなどで簡単に手に入る、磁石式のものを付けて誰でも簡単に駐車できるのもおかしい。本当に障害者用駐車スペースを必要としている方々が嫌な思いをせずに駐車できるようになるために、早く「パーキングパーミット制度」を取り入れてください。県外に行くと駐車場係の方々の障害者マークの認知、駐車場へ案内する対応など素晴らしく、いつも感動します。青森県はまだまだ。短命県返上も素晴らしい取り組みだと思いますが、障害者用駐車スペースに限らず、障害をもった方々や体の不自由な方々にとって、もっと住みやすい「県」になってほしいです。</p>	健康福祉部	<p>今後検討する</p> <p>青森県では、障害者等用駐車区画の適正利用を目的に、福祉のまちづくり条例施行後、車いす使用者駐車場の利用に係るラジオ広報や不正防止ステッカー配布などの啓発を行っているところですが、パーキングパーミット制度について、県内市町村を含め、導入しているところはありません。</p> <p>国土交通省によるパーキングパーミット制度の導入促進方策検討会における報告書では、パーキングパーミット制度導入の効果として、障害者等用駐車区画の適正利用が促進された。障害者専用駐車区画の利用がしやすくなった等、一定の効果があるとされているところです。</p> <p>しかし、一方で他府県等においてパーキングパーミット制度を導入した後の課題として、利用対象者数に見合う駐車区画が不足しているといった点や、利用証の不適正利用があるといった課題が挙げられております。</p> <p>このため、当該制度の導入については、課題への対応も含め、障害者等用駐車区画の適正利用について、県民意識の醸成と理解促進を図りながら検討を進めていきたいと考えています。</p>

番号	受付年月日	受付方法	性別	年齢	市町村	提案内容	担当部局	取組状況等
8	平成30年8月5日	HP	男性	40代	蓬田村	<p>青森県には「精神障がい者ピアサポート専門員養成研修」がないのでしょうか？私は精神障害者ピアサポーターになりたいです。</p> <p>青森県は自殺者が多い県です。厚生労働省の資料では自殺者の7割が精神科病院に通院しているにもかかわらず自ら命を絶つみたいです。</p> <p>精神障害者が精神障害者をサポートすることは簡単なことではないかもしれませんが、両者にとって良い方向に向かうきっかけになるかもしれません。</p> <p>また、別の資料には、精神障害者を雇用した企業のアンケートがあり、「個人の差がある」という結果がありました。ピアサポートも同じだろうと個人的に感じます。</p> <p>ですが、『精神障がい者ピアサポート専門員養成研修』が青森県に無いのは残念です。</p> <p>就労継続支援(A・B型)、その他施設に通所してる精神障害者をピアサポートに育てる計画は青森県にあるのでしょうか？</p>	健康福祉部	<p>今後検討する</p> <p>青森県では現在、精神障害者を支援するためのピアサポーターの養成は実施していませんが、厚生労働省主催の会議で活用事例が紹介されるなど、その存在と役割が全国的に認知されつつある現状を踏まえ、今後の養成及び活用について検討していくこととしています。</p> <p>なお、御提案にある「精神障がい者ピアサポート専門員」は「一般社団法人日本メンタルヘルスピアサポート専門員研修機構」が認定する民間資格となります。</p> <p>自治体がピアサポーターの養成研修を実施する場合、必ずしも同資格の取得を目的とするものではないことに御留意ください。</p>
9	平成30年8月14日	HP	男性	不明	八戸市	<p>みちのく有料道路及び第二みちのく有料道路の通行料金を値下げしたほうが良いと思います。</p> <p>青森空港道路が値下げしたら大幅に(通行量が)増えたということ聞いています。天間林のみちのく有料道路は普通車850円で若干高いようにも思われます。500円に値下げしたら今よりは少し交通量が増えると思います。本来であれば平成22年の徴収延長時に延長に対する料金対応で値下げ措置を導入してほしかったことです。道路維持など様々な問題があることと思います。県南の人にとっては高くて通行したくないという人も多くいます。かと言って国道4号の野辺地・平内迂回ルートは遠回りかつ時間がかかります。</p> <p>開通から40年近く経過しているのに採算が取れないというもおかしな話だと思います。個人的には値下げしたら増収・通行増加につながると思います。下田の第二のほうは普通車100円で良いと思います。それを踏まえ、天間林(みちのく有料道路)と下田(第二みちのく有料道路)の全車種料金体系の変更をどうかご検討お願いします。</p>	県土整備部	<p>実施困難</p> <p>青森県道路公社が管理運営する有料道路をいつもご利用いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>みちのく有料道路及び第二みちのく有料道路の通行料金値下げに関してですが、有料道路の建設費用等は通行料金で賄うことが原則となっており、料金を値下げするには、値下げに見合う交通量の増加が見込まれ、少なくとも料金値下げ前の収入が確保できることが必要となります。</p> <p>みちのく有料道路においては、過去2回(平成15年度、平成16年度)、料金値下げによる社会実験を実施しており、このうち、平成16年度の実験では、ご提案のように普通車500円としたところですが、割引に見合うほどの交通量の増加がなく、2回とも大幅な減収となっております。</p> <p>料金値下げは、利用率向上を図るための方法としては有効ではありますが、値下げにより減収となった場合の負担など、公社経営に直接影響を与える問題であるため、実施は困難であると考えております。</p> <p>皆様にご利用いただけるよう、青森県道路公社と共に努めて参りますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。</p>
10	平成30年8月23日	HP	男性	70代	県外	<p>リンゴ園の第三者継承は貴県にとって大事な事柄です。利害関係にある移譲者、担い手のマッチングが究極の目的である継承契約への障害となっているのではないかと懸念しています。</p> <p>長野県ではJA等が一時的にリンゴ園を借上し改植等をした後、担い手に貸すリース農場や担い手が見つかるまでの間、経営をつなぐリリーフ農場により樹園地の荒廃化防止と環境整備をしています。</p> <p>北海道では公社が農場や施設を一括取得し、新規参入者へ譲渡条件を明示して一定期間一括賃貸する農場リース事業を行っています。</p> <p>貴県への提案は農地バンクの農地借上とJA子会社等の「つなぎの事業者」によるリンゴ園譲受(無償譲受含む)を同時に行い、改植、新植、整備等による「生計の成り立つ先進のリンゴ園」へ再生し、譲渡条件による担い手募集で担い手と農地バンクの橋渡しをやられたらよいのではないかと考えています。</p>	農林水産部	<p>実施中</p> <p>青森県の耕地面積の約15パーセントを占める樹園地は、経営主の高齢化や労働力不足等を背景に経営の継続が課題となっているものの、永年作物の特殊性等から貸借が進みにくい状況にあります。</p> <p>このため、青森県では、りんご生産者団体等と連携して、りんご生産者の経営意向を把握するとともに、農地中間管理事業と果樹の改植事業の組み合わせなどにより、樹園地を担い手にスムーズに継承する仕組みづくりを今年度から実施しているところです。</p> <p>御提案いただいた農地中間管理機構とJA子会社等を活用したりんご園地の第三者継承につきましても、手法の一つとして検討していきたいと考えています。</p>